

川西の未来をともに創ろう！

川西市議会議員

# 秋田 修一

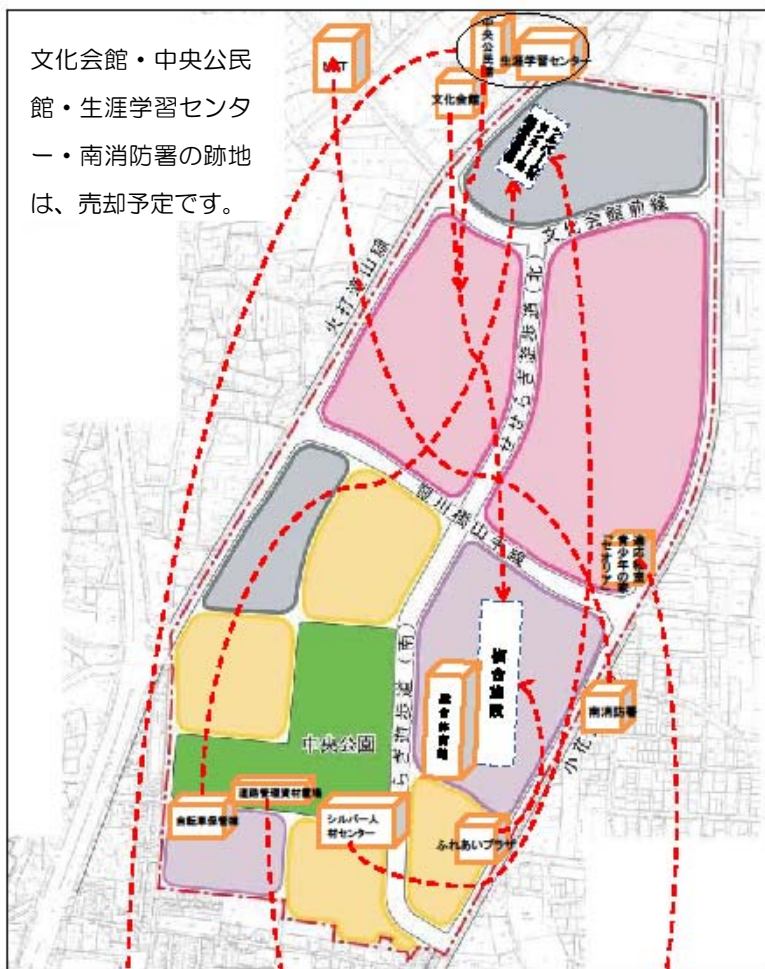
後援会便り Vol. 7



本年4月より第5次総合計画すなわち川西市のこれからの10年間でどのようにあるべきかという計画がスタートいたしました。超高齢化を迎え、団地の再生、中央北地区の整備、中心市街地の活性化、公共施設のあり方など様々な課題をどのようにしていくのか重要な時期です。しっかりと様々な視点を持ち、よりよい川西市作りの一翼を担っていきたいと思います。

## これからの公共施設は？

公共施設が老朽化を迎え、また開発に伴う移転なども相まって、これからの公共施設のあり方や、どこに、どの程度、どんなことを目的として設置していくのかについて検討を始めました。



文化会館・中央公民館・生涯学習センター・南消防署の跡地は、売却予定です。

## アステ川西は？

平成25年度予算で、アステ川西6Fのホールを含めたフロア全部を3億で買い取り、仮称多機能型市民サービスセンターを2億余りで設置の予定です。

内容については、中央公民館の機能と生涯学習センターの機能を兼ねることとなります。貸部屋を多数持ち、高齢者大学や生涯学習短期大学（レフネック）も移設されます。他市民サービスのために行政窓口や各種相談窓口なども検討されています。アステホールはやや規模を縮小して存続の方向です。

## 文化会館は？

今のままの1000人のホールが必要なのかを、音楽関係の利用の方たちに意見を聞きながら検討中。

## ふれあいプラザ・福祉は？

文化会館との複合化を予定しています。福祉の拠点として生まれ変わる予定です。

アステ川西6階



加茂6丁目地内  
県管理用地

中央公民館・生涯学習センター  
(高齢者大学・レフネックなど)  
を含む多機能行政センター

パルティ川西2階



通称教室青少年の家  
セオリアを移設

全ての施設を、今まで以上に市民に役に立つところを目指して...



土地区画整理事業の認可を受けてスタートした中央北地区の整備が仮換地（それぞれ固有の土地を区域内の別の場所に移す事。）をほぼ終えて、いよいよ具体的に開発が進んでいきます。

名称もキセウ川西（輝きや希望の「キ」せせらぎの「セ」洛すなわち都の意の「ウ」を合せたもの）と決まり、愛されるまちへと生まれ変わっていきます。

さて、ではどのようになっていくのか？について下の図を使って説明します。

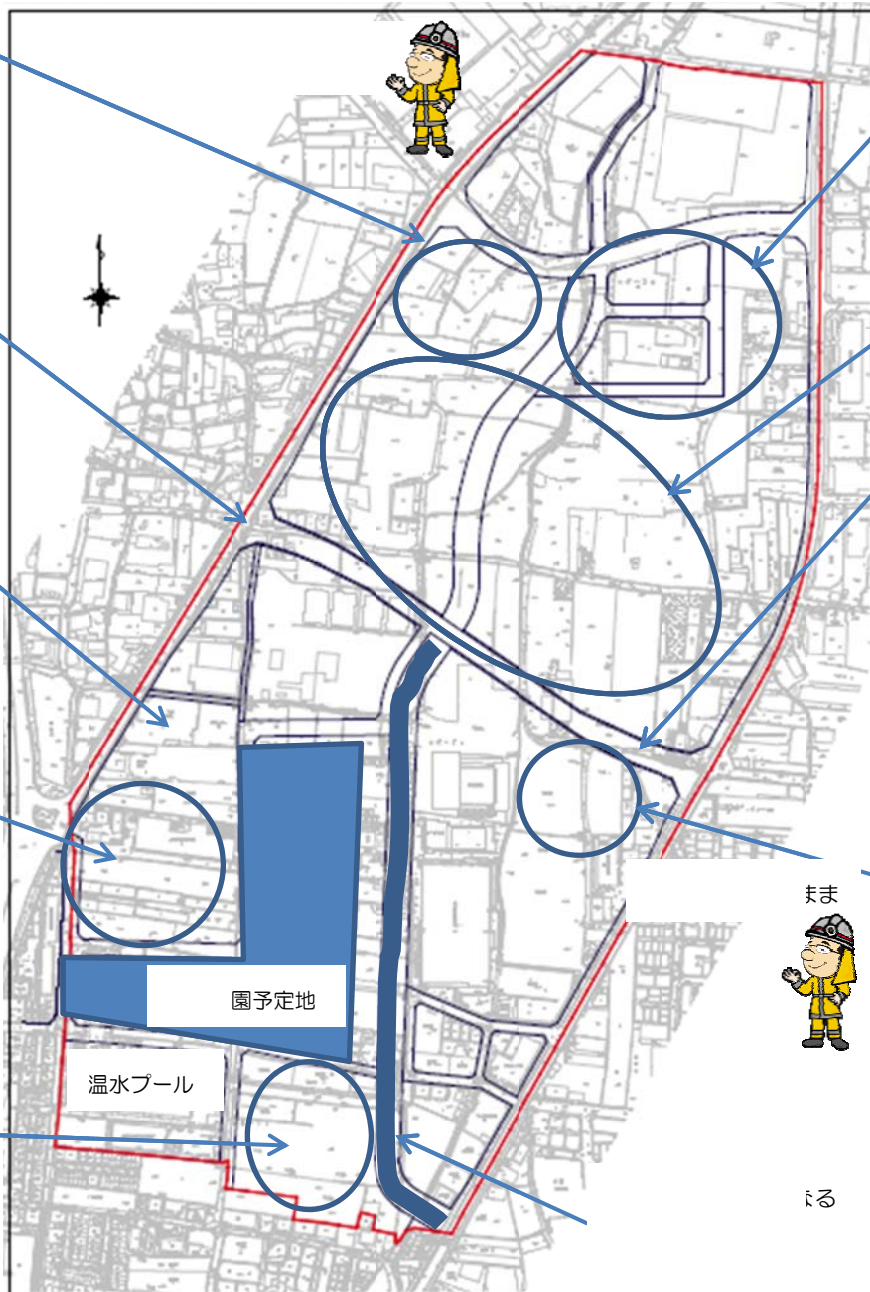
遊興施設を南に移動して川西警察署前の交差点を拡張。時差式信号を正常な状態に。

渋滞が予想される道路ですので、右折レーンを設置。大型商業施設への入り口は現在、警察と協議中。

既存の商業施設は、基本的にはそのまま。道路・歩道が今後の課題です。

医療ゾーン。中心地に医療を！との中・南部の市民の声を反映すべく医療施設の誘致をこのゾーンに実施します。

住宅ゾーン。マンションなどの住宅施設を民間の力を借りて誘致します。



既存の会社や工場をこの地区に移転します。

大型の商業施設が来ます。映画館やパスタのお店、銭湯なども出店予定です。

池田市R173 から能勢電鉄 絹延駅前を通り市役所前の道を超えてこの地区を横断する道路ができます。道の両側の歩道は 3.5mと自転車も走れる広さに。

文化会館移設予定地。音楽・体育館・公園・せせらぎ、人々の生活に憩や潤いをもたらす要素を集結。そこに低炭素のまちづくり（持続可能な）をコンセプトに。



ま  
ま  
ま

渋滞が発生するのではないか？オーバーストアでお店が長く続かないのではないか？駅前との兼ね合いは？などがよく尋ねられる課題です。今、川西市の道路交通の在り方について検討が始まりました。新名神高速道路開通による南北交通なども含めて、人・車が安全に移動できる交通網、道路の在り方をしっかりと議論してまいります。また、商業施設については駅周辺との共存・共生が図れるように、つなぐ考え方を今以上に高めて、中心市街地の活性化を目指します。

まずは、駅周辺の歩道が歩きやすいように、そして自転車も通りやすいように、さらに停めるところも明確でわかりやすく利用しやすくしていきたいと思っております。その流れがスムーズになれば自然と広がり生まれ、駅周辺と中央北地区とをつなぐことになると信じています。